

Claudeをあなたの 『目』と『助手』に

マルチモーダルとCoworkが
変える新しい働き方





チャットボット

すべてを文字で
説明する時代



思考のパートナー

ファイルを見せて
文脈を共有する



実務パートナー

一連の作業を委任する



Phase 1: KNOW (知る)

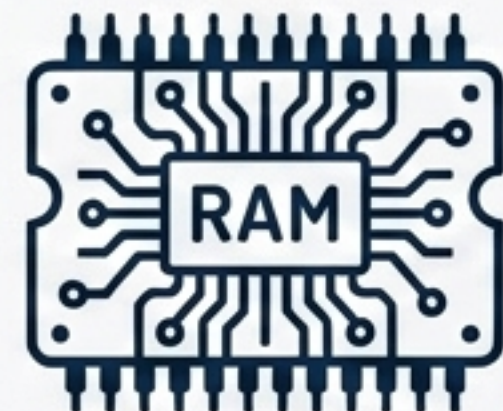
「言葉で説明する時代から、 ファイルを見せる時代へ」

マルチモーダルで広がるClaudeの世界。
画像やさまざまなファイルを「見て、理解する」能力が、AIとの協働を根底から変えます。



Vision（視覚）機能

写真、スクリーンショット、手書きの図などを人間と同じように「見る」能力。



作業メモリ（コンテキスト）

読み込ませたドキュメントを一時的に記憶する領域。AIが状況を正しく理解するための「前提知識」。





ホワイトボード写真から議事録作成

会議後のホワイトボードをスマホで撮って渡すだけで、要点を整理してテキスト化。



複雑なPDFの要約

専門的な長い資料から、自分に必要な重要ポイントだけを抽出。



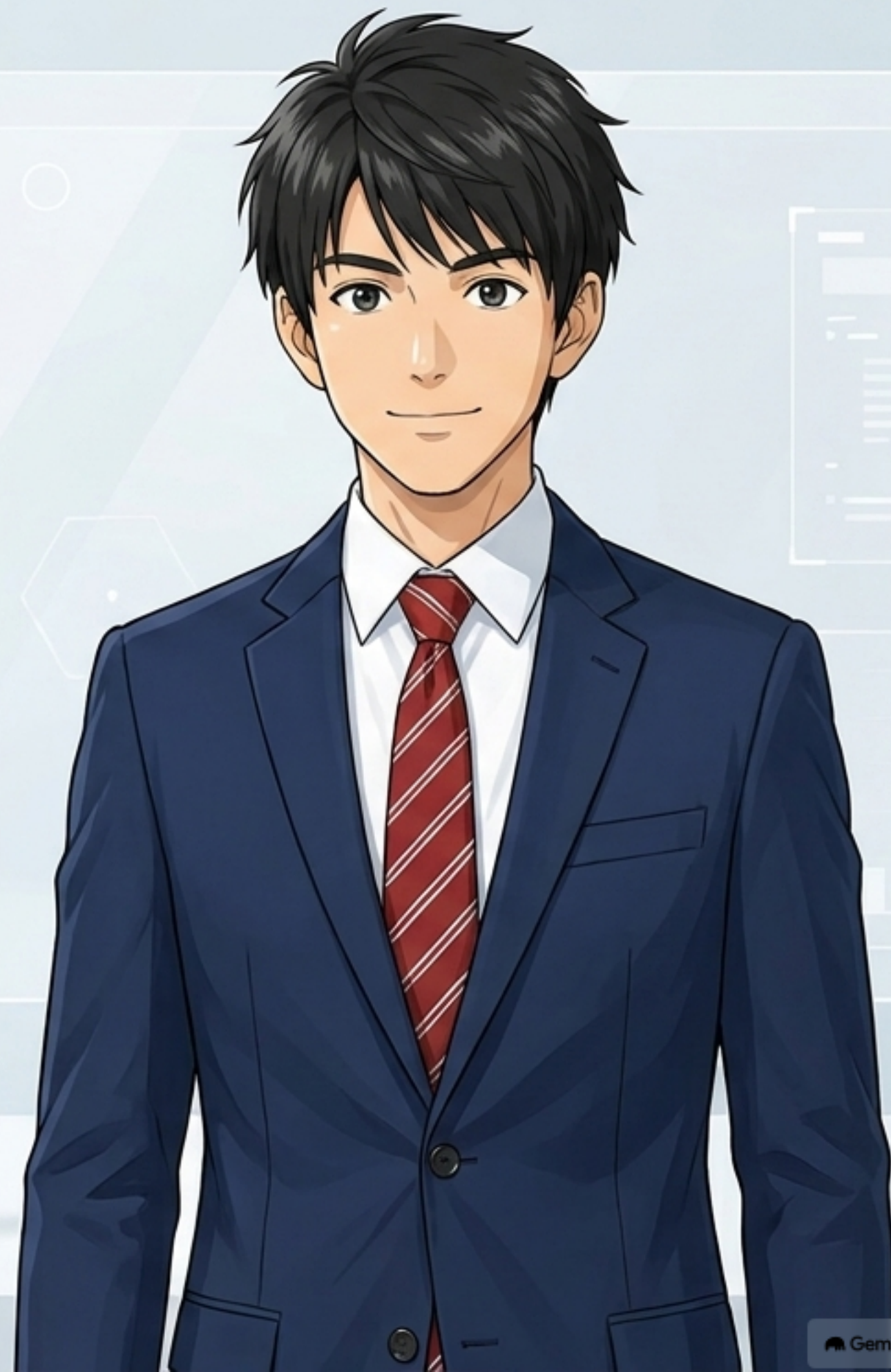
大量データの傾向分析

Excelファイルを読み込ませ、データの全体像把握や隠れた傾向の発見。

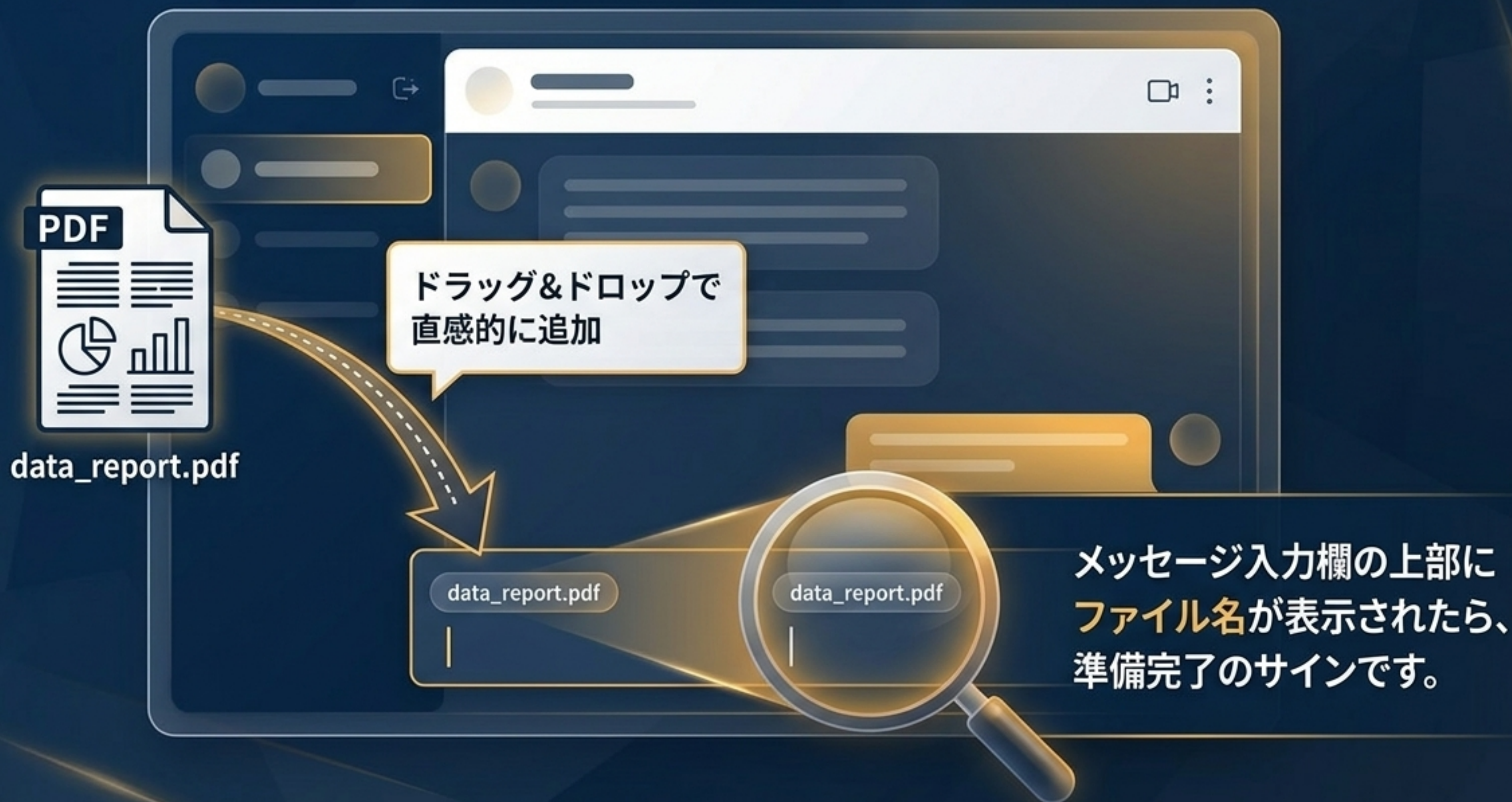
Phase 2: DO (やってみる)

ステップ・バイ・ステップで学ぶ実践ガイド

実際にファイルをアップロードし、効果的な指示を与え、作業を委任するまでの具体手順。



Step 1: ファイルの準備とアップロード



Step 2: 記述力 (Description) の極意

常に「対象読者（誰に向けた出力か）」を定義する。

NG: 惜しい例



「このPDFを要約して。」

一般的で、誰に向けたものか
分からない要約。

OK: 理想的な例



「このPDF内の調査結果を、1ページのブリーフにまとめてください。対象読者は、内容を初めて知る役員で
すください。対象読者は、改善に意欲的です。
箇条書きを多用し、結論を先に述べてください」

Format (1ページ)

Audience (初めて知る役員)

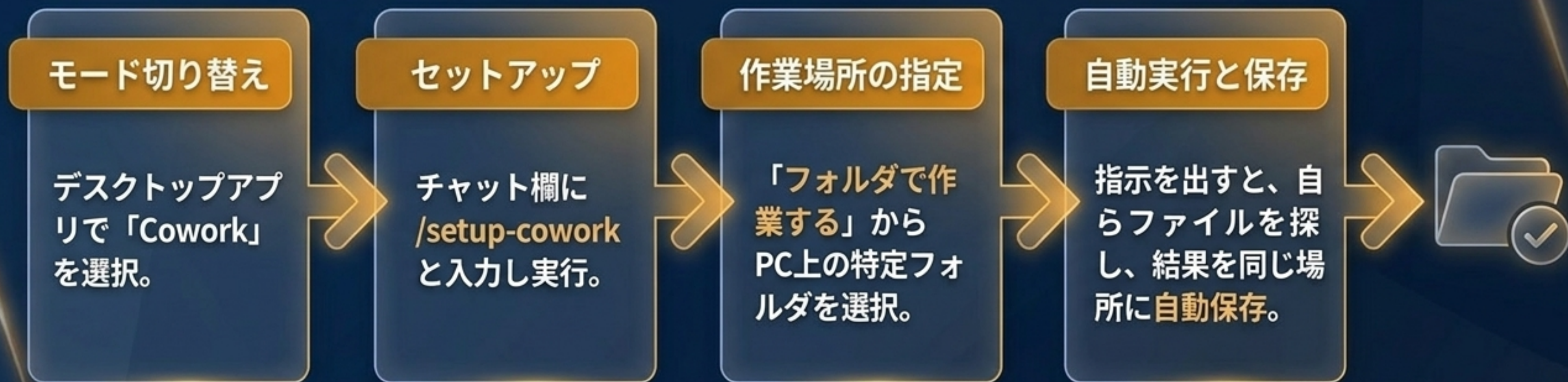
Structure (箇条書き/結論から)



[Placeholder for bullet points]

[Placeholder for bullet points]

Step 3: Claude Coworkで「一連の作業」を委任する



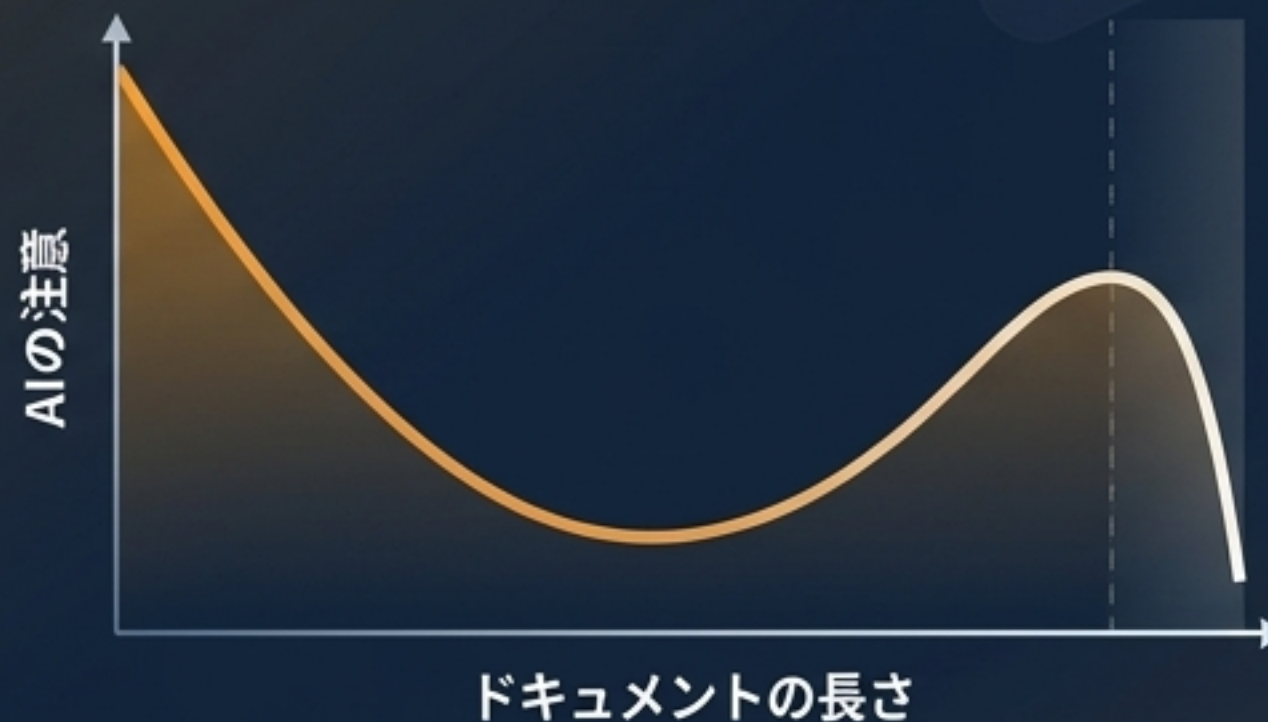
初心者が知っておくべき2つの限界（限界と対処法）

知識のカットオフ



最新ニュースの背景知識はありません。ただし、「今、目の前で渡されたファイル」の内容は最新情報として正しく処理できます。

途中で迷子になる問題 (Lost in the Middle)



作業メモリには限界があります。大量のファイルを一度に渡すと、情報の真ん中あたりの注意が薄れます。重要な情報は小分けに渡しましょう。

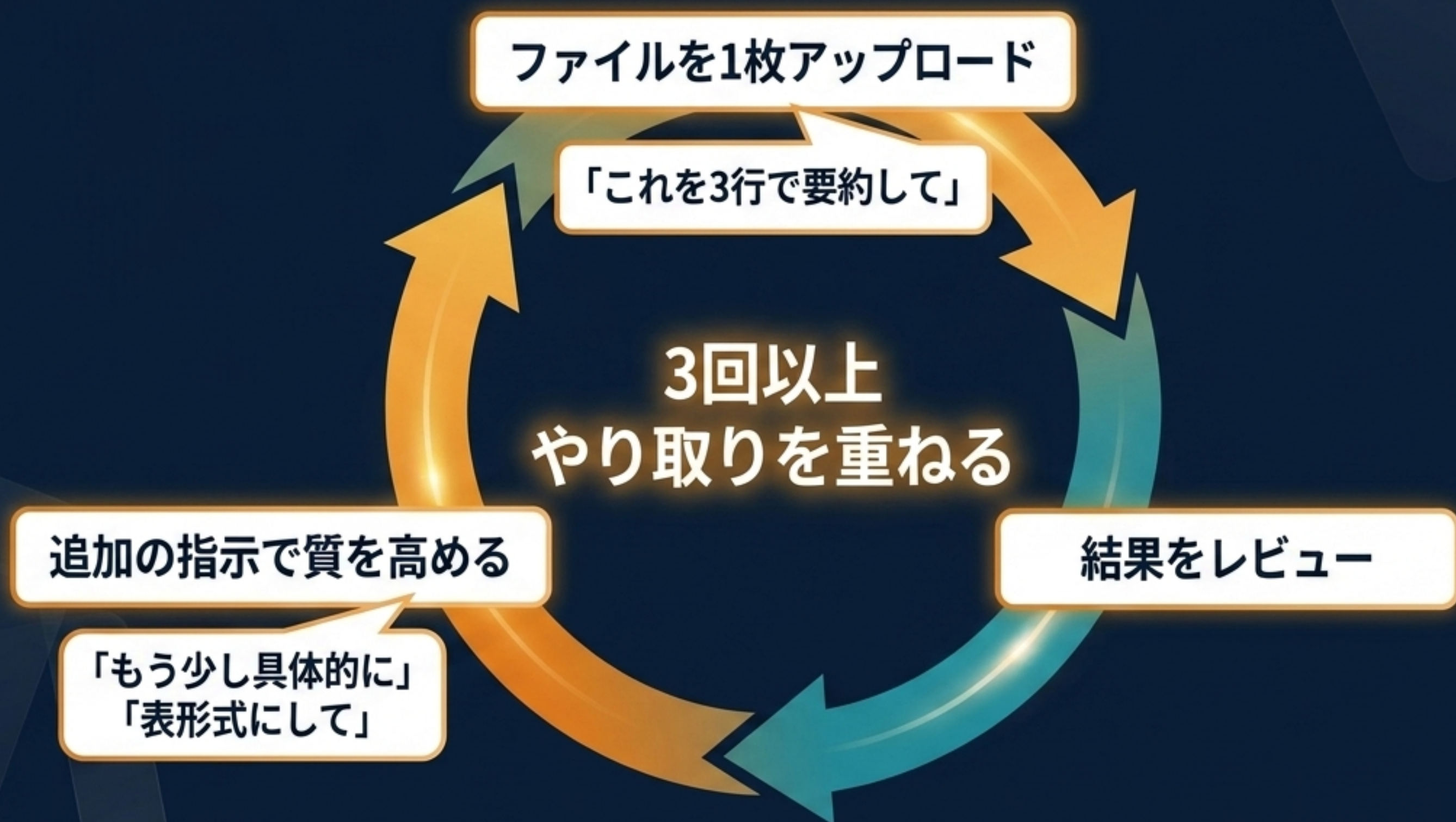
Phase 3: BUY (自分で触りたくなる)

実務パートナーへの 進化と人間の役割

AIが情報の転記や下読みを背負うことで、
人間は「どう判断し、どう活用するか」という
クリエイティブな役割に集中できます。

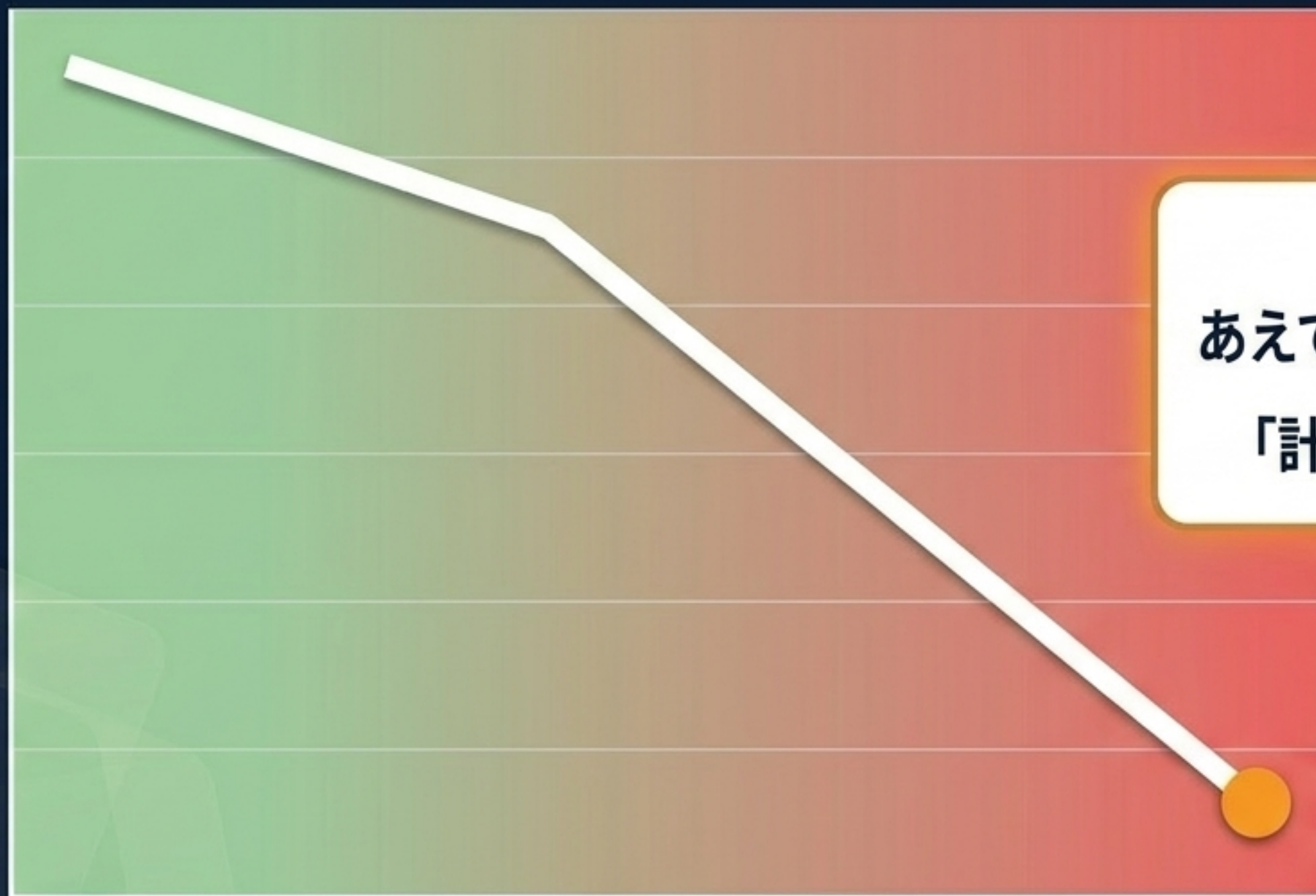


最初のアクション：反復（イテレーション） チャレンジ



罣を回避する：「アーティファクト効果」

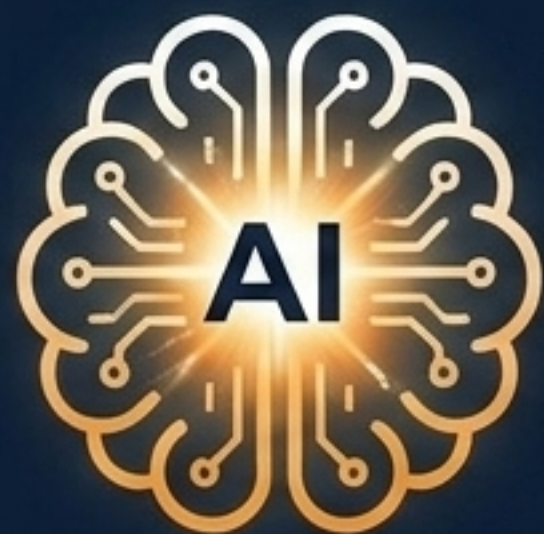
人間の事実確認・評価行動



見た目が完璧な時ほど、
あえて論理の飛躍や情報の欠落を疑う。
「計算された懐疑心」を持ちましょう。

最大 -5.2ポイント低下

出力が洗練されている度合い



= 処理 (Processing)



= 評価力・判断 (Discernment & Judgment)

AIにデータ読み込みを任せ、あなたはクリエイティブな決断に集中する。
それが真の共創 (Augmentation) です。

まずは1枚のファイルをアップロードしてみましょう！